

今までの自分をふり返って

八幡第二小学校 六年

山浦 拓真

思い返してみると、僕は四年生の時、ずっと授業を受けなかった。なぜなら僕のクラスは荒れていたからだ。僕だけじゃなくて、クラス全体の人がそうだった。授業を受けないだけでなく、ほとんど毎日、先生に対して反抗したり、子供同士のケンカをしたりとの連続だった。先生たちへ向けてのイタズラや嫌がらせもやっていた。例えば、バリケードを作って先生たちが教室に入つてこられないようにしたり、先生の持つている手帳をかくしたり、非常電話をはずして、職員室の先生たちをからかったり、非常ベルを鳴らしたりして先生たちを困らせた。

いじめもあつたし、給食を粗末にしたりして、悪事の限りをつくしたといってもいいくらいだった。

当然、毎日のように会議室や校長室によばれて説教された。また、毎時間先生たちが三、六人ほど教室にいる状態だった。お母さんたちも、先生たちと夜遅くまで学校で話し合いをしていた。

でも、そんなことにはお構いなしで僕たちの暴走は止まらなかった。毎日、自由参観でお母さんたちが来るようになった。僕自身も止めようとも思わず、むしろもつとやつたれと思つていた方だ。今から思うと何でこんな状況になつたのかという原因は分からない。

五年生になって、担任の先生が変わつた。しかし、初めの一ヶ月半ほどは、僕らの態度は変わらなかった。相変わらず授業は受けてなかった。授業中、僕は寝ていたし、他の人も寝たり、手遊びをしたり、後ろを向いてしゃべつている人がほとんどだった。

一ヶ月半が過ぎたぐらいから、みんなの態度が徐々に変わつてきた。担任の先生が、班で頑張っていたり、良いことをするとポイントをくれ、班で立てた目標ポイントを全部の班がクリアすれば、クラスでお楽しみ会を開いてくれた。このような取組をしてくれるようになって、みんながお楽しみ会が開けるように頑張ろうとした。また、友だちと、いろんなことについて話し合うことができるようになってきた。担任の先生は一人一人の話をしっかり聞いてくれたり、わかりやすく面白い授業をしてくれたり、お楽しみ会を開いてくれたりして、僕たちのことを真剣に考えてくれるなあとみんなが感じるようになってきた。五年生になって月が経つにつれて、みんなの授業態度がどんどん良くなっていった。クラスの雰囲気も良くなって、いじめもなくなっていった。給食も粗末にせずにマナーを守って食べられるようになった。

六年生になると、男の担任の先生に変わり、今までの先生たちとちがうと感じた。三年生の時、男の先生になったことがあるけど、また一味ちがった感じだった。例えば、授業がちがった。分かりやすかった。社会の歴史だと雑談が入つて豆知識を教えてくれたり、勉強の内容が頭によく入った。理科だったら、

実験をたくさんしてくれてとても楽しかった。勉強のやる気がより出てきた。さらに、僕は今まで代表委員とかみんなの先頭に立つような仕事に立候補したことがなかったのに、前期は代表委員、後期は児童会本部役員になった。子ども会議の議員にだって立候補してなった。いろんな事に前向きにチャレンジするように自分が変わっていった。

自分をふり返って、なぜ四年生の時にあんなことをしたんだろうと後悔している。みんながやっているから調子に乗ってそれに流されてしまったのがいけなかった。楽しいことばかりやるのではなく、嫌なことでも決められたことはちゃんとしなければいけなかったと思う。先生たちだけじゃなく、給食調理員さんやいろいろな人にお世話になっていることを忘れていたし、友だちの気持ちも考えていなかった。

これから僕は、自分がするべきことをよく考えて、嫌なことでも前向きに取り組んでいこうと思う。周囲に流されないように、自分の意志をしっかり持って行動していくつもりだ。

もし、みんなが違った方向に流されて行くのに出会ったら、たとえ一人でも立ち向かっていこうと思う。そして、相手を思いやり、みんなの役に立てるよ
うに成長していきたい。